

「ドミノ研修」プログラム

国立江田島青少年交流の家

1 活動内容

ドミノ牌（以下「ドミノ」）を、道をつくるように並べ、完成後、倒していくことを楽しむ「ドミノ倒し」と、ブロックのように積み上げ、城やビルなどのような形をつくるように並べる「ドミノアート」がある。

2 活動のねらい

仲間と協力して活動をするを通して、達成感を味わわせると共に、思いやりの心、忍耐力、集中力を育てる。

3 研修場所、研修対象者

小学生以上とする。ただし、保護者又は責任の持てる引率者と組んで活動する場合にはこの限りではない。

4 研修人数

体育館：最大100人程度

武道館：最大50人程度

※ 少人数であれば、研修室等の机の上でも可能



ドミノ入れカゴ と ストッパー

5 実施時期、研修時間

(1) 実施時期 通年

(2) 研修時間 午前 9:00～12:00

午後13:30～16:30 18:00～21:00

6 準備物

個人：活動しやすい服装，体育館シューズ（体育館の場合），もとになる図案（研修当日考えてもよい）

交流の家：ドミノ（体育館倉庫内）【白・黒・黄・赤・青・橙・緑 各約3,000個】

ストッパー【100個】，ドミノ入れカゴ【25個】

※ 「ストッパー」とは、途中でドミノが倒れた時に、全部が倒れることを防ぐために、ドミノとドミノの間に置く仕切り板。

7 指導

団体で行う。

8 展開

(1) 事前打ち合わせ

職員と団体の代表者（引率者）が「ドミノ研修」プログラムを基に、研修に必要な物品や実施方法等の打ち合わせをする。

(2) 研修開始前

団体の代表者（引率者）は、交流の家から体育館外倉庫の鍵（体育館でする場合は体育館の鍵）を受け取り、倉庫から使用するだけのドミノ、ストッパー、ドミノ入れカゴを運ぶ。

(3) 事前指導

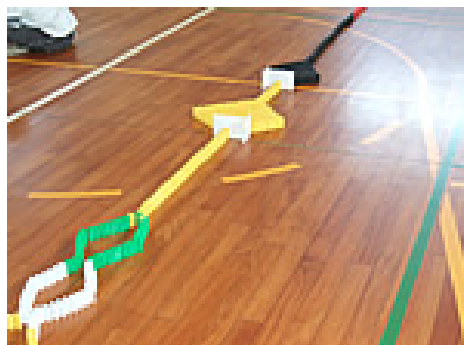
- ・ねらいを確認した後で、グループ分け（7～8名程度）をし、グループの活動場所を知らせる。
- ・全体で一つのものを作るのか、グループでそれぞれ作るのかを確認する。
- ・並べたドミノ近くで歩いて、その振動でも倒れることがあるので、慎重に行動するように注意する。

(4) ドミノ活動

<ドミノ倒し>

- ・ドミノとドミノの間が広すぎたり、カーブのドミノの置き方がいいかげんであったりすると、途中止まることがある。
- ・本線（スタート地点からゴール地点まで、必ず倒れなければならないドミノ）から枝分かれで仕掛け（絵や見せ場）を工夫して作らせるのもよい。
- ・本線ルートを目安として、先にストッパーを並べておくと、全体像がつかめてよい。
- ・分担場所が終わったグループや個人は、静かに壁際に座らせるなどして、仲間を応援させる。
- ・すべて並べ終えた後で、ストッパーを慎重に外しドミノを倒す。

※グループ別でドミノを作らせる場合は、各班の倒れる長さのタイムを計るなどして、グループ対抗にする方法も考えられる。



ドミノ並べの風景

<ドミノアート>

- ・「夢のお城」「マリンワールド」など、作品のテーマを決めさせてから始めさせたり、最後にグループごとに、できた作品を紹介させたりするとよい。



ドミノアートづくりの風景

(5) 事後指導

- ・ふりかえりをし、ねらいに対してどうだったかなどのまとめをする。
- ・ドミノ（色別）やストッパーを全員で集め、体育館倉庫に片付ける。
- ・倉庫（体育館使用の場合は体育館）の鍵を交流の家へ返却する。